

東北・福島+埼玉=福の玉 が生まれ、ゆっくりふくらんでいきますように...

福玉便り

ふくたまたまだより

新緑まぶしい01号

2012年4月21日(土)発行

(隔月発行予定)

発行:『福玉便り』編集委員会 (社)埼玉県労働者福祉協議会・NPO法人ハンズオン埼玉・震災支援ネットワーク埼玉(SSN)

編集・デザイン:NPO法人ハンズオン埼玉 メール:fukutama@431279.com

連絡先:(社)埼玉県労働者福祉協議会:〒330-0061 埼玉県さいたま市浦和区常盤6丁目4-2 1 TEL048-833-8731

はじめまして! 『福玉便り』と申します。私達は、この一年、いわゆる「支援」の活動に関わらせていただいた埼玉に避難してこられた皆さんと出会い、一緒に話したり、食べたり、時には踊ったりして来ました。私達は皆さんから何度も「ありがとう」と言われました。「つらいことはたくさんあったけど、あなたに会えてよかった」と言ってくださる方もいらっしゃいました。その度、電気や食べ物のこと、東北・福島のみなさんの暮らしのこと、何も知らなかった自分を見直しました。

私たちは皆さんにお会いできて、本当に良かったと思っています。もっと東北・福島と埼玉の人が「出会ってよかった」と思える機会があったら欲しい。出会いから皆さんの『福の玉』が生まれてほしい。避難者と支援者をこえて人と人としての関係になれたらいいなと思いました。そんなわけで、このささやかな「お便り」を出すことにしました。

「このお便りのおかげで、誰かと話せた。」そう言っていただけのような話の種、友達の話、明日の種をたくさん飛ばすことができたらしいなと思っています。タンポポのように。どうぞよろしくお願いたします。みなさんの声をお待ちしています。

『明日の種』をお届けします。



提供しています。支援物資のご案内

下記の食品・生活必需品を提供をさせていただいています。子育てや介護・看護に必要なものについてもお気軽にお問い合わせください。(社)埼玉県労働者福祉協議会 (電話 048-833-8731)

- ・マヨネーズキューピーハーフ
- ・洋風そうざいの素 (なすのトマトミート炒め・ガリバタキャベツ)
- ・寄せ鍋の素
- ・果物缶詰(夏みかん)
- ・パイン&アロエ
- ・ところてん
- ・紙おむつ(子供用・大人用)
- ・毛布・綿毛布



福玉便り お送りします。

ご希望の方には、本紙を郵送でお送りします。下記までご連絡ください。(社)埼玉県労働者福祉協議会 (電話 048-833-8731) メール: fukutama@431279.com



編集後記

SSN (震災支援ネットワーク埼玉)では、たたいま埼玉県内に避難されている福島のみなさまに向けたアンケート調査を行っています。協力・早稲田大学辻内琢也准教授。四月二日現在で四五〇通を超える回答をいただいています。ご協力ありがとうございました。自由記述欄にびっしりと、避難の苦労や将来への不安など、叫びのような声が書かれていたものも多数ありました。早く到着した分からの集計によると、三割近くの方が「相談相手がいらない」と答えていらっしゃいます。「悩みがあっても自分ではなんとかなると答えていらっしゃる方が四割。また、ほとんど情報が届いていないという方も二割いらっしゃったそうです。本誌が少しでもお役にたてるようにがんばらねばと思っていきます。どうかみなさま、ご協力のほどお願いいたします。手渡ししながら、お声かけしていただけるような誌面にしたいと思っています。(に)

電話相談

相談の中身が自分でうまく整理がつかなくても大丈夫です。まずは声をお聞かせください。



よりよいホットライン 0120-279-338

(フリーダイヤルつなぐささえる) 365日24時間。無料です。震災・避難関連の相談をはじめ、生活の困り事、心の悩みなど、どんな内容でも対応してくれます。

女性のための電話相談ふくしま

0120-207-440

月～金(祝日のぞ)10時～17時

協力:女性の自立を応援する会/いわきふれあいサポート/郡山市・いわき市

夫婦や親子、親族間の人間関係に関する戸惑い、震災後、日常的に感じる不安感、孤独感。配偶者や恋人からの暴力(精神的なことも含む)いらついて、子どもにつらくあたってしまふ。秘密厳守。匿名での相談が可能。福島県から県外へ避難している方も対象となります。女性の相談員が対応します。相談の内容によって、専門の相談機関におつなぎします。

スパリゾート・ハワイアンズへの日帰りバス旅行

主催:埼玉県労働者福祉協議会

厳しい避難生活を送って来られている方々に「気分転換となつかしい人たちとの交流の場を!」ということで、スパリゾートハワイアンズへの日帰りバス旅行を実施しました。当日は、主に警戒区域から埼玉県内への避難者二七八名と福島県白河市・現地集合組の一〇五名、合わせて三八三名の方にご参加いただきました。子どもたちは一目散にプールへ直行。大人の皆さんは、休憩所に残ってのんびり派は、常夏の雰囲気生ビールを片手に話を弾ませ、カラオケで美声(?)を披露する方も。いっぱい楽しもう派の皆さんは、プールへ、大露天風呂へ。そしてフラガール達の美しいダンスや迫力あるファイヤードンズに一同酔いしれました。今回の旅行では、久々の再会のみならず、新たな出会いもたくさん生まれましたようです。出発間際まで連絡先を交換される姿がいたるところで見られました。皆さんの「来てよかった!」の声を聞くことができました。



2012.3.25

2012年4月10日 さいがい・つながりカフェのお花見

@さいたま市・市民の森/With Youさいたま和室

2P参照ください。



初参加の方を含め、総勢二〇名を超える方で、お花見をしました。ご自慢のお弁当(ほつき飯のおにぎり?初めてたべました)やお漬物が、「ほらほら取って!」とつちにも回して〜と行き交い、にぎやかでした。

今回の花見は、会場の近くに避難されているMさんというご夫婦が「近くに桜がきれいな場所があるから」と提案してくださいました。それが、お花見を以前見せていただいた時のお家の写真を以前見せていただいた。毎日、花を慈しみ育て、花に囲まれた生活をされていたそうです。当日は一等地の場所取りから案内からゴミの片付けまで引き受けてくださいました。

生後六か月から七〇代まで、あの地震や事故がなければ、出会うこともお花見をするようなこともなかったであろうメンバーで、とても不思議な感じでした。この出会いは大切にしたいという想いで一杯になりました。さいがい・つながりカフェ スタッフ・薄井

県内各地で、さまざまな交流会やイベントが行われています。土地勘がないなど、不安なおありかとおもいますが、ぜひ、一度お出かけください。お待ちしています。(各地の様子は次のページに)



大休憩所は大賑わい

お茶っこすっぺ

埼玉県内の各地で、被災者・避難者と支援者が
みんなと一緒に交流の場をつくっています。
故郷の言葉で話せば元気も出るかもしれません。
お近くの交流の場にお出かけください。

下記にご連絡ください。ご案内いたします。
(社)埼玉県労働者福祉協議会(電話048-833-8731)



...「お茶しましょう」ってこれで福島言葉になってますか?(^^;)

シラコバト団地避難 住民の会・ひまわり

【上尾市】

上尾市では、県営シラコバト
団地で福島県などからの避難
者を受け入れてきました。2011年4月に団地の
入居歓迎会が開かれたことをきっかけに、「避
難住民の会・ひまわり」が結成され、現在も月
1回の交流会を続けています。



2012.3.11、団地で行わ
れた追悼式典

加須ふれあいセンター【加須市】

加須市では、避難所となっていた「老人福祉セン
ター・不老荘」でのボランティアをきっかけに
「加須ふれあいセンター」が結成され
ました。その後、旧県立騎西高校
に避難した方々も
加わり、騎西高校で
の交流会などを実
施しています。



交流会でももちつき



<http://kazofureai.com/>

旧騎西高校

避難者の方々によるさまざまな
活動が行われています。



ミシン教室



新聞バックづくり



双葉整膚クラブ

東日本大震災オール熊谷自立支援ネットワーク ふるさと交流サロン

【熊谷市】

熊谷市では、官民協同の「東
日本大震災オール熊谷自立
支援ネットワーク」を通し
て、避難者の方々の支援をお
こなってきました。2011年
10月からは、新たに「ふるさ
と交流サロン」が立ち上がり、2か月に1回のべ
ースで交流会をおこなっています。



交流サロン



交流会参加者が料理
をつくる



きずなの会

【東松山市】

東松山市では、雇用促進住宅などで福島県から
の避難者を受け入れてきました。2011年7月
から市役所と社協の主催で交流会やバスツア
ーが4度企画されたほか、雇用促進住宅で結
成された「きずなの会」が毎月交流会をおこな
っています。

鳩山町震災支援ボラン ティア実行委員会【鳩山町】

鳩山町では、日立製作所鳩山ハウス
やJAXA旧職員宿舎で福島県からの
避難者を受け入れました。2011年5
月に結成されたボランティア実行委
員会によって、「鳩山を知る楽しむ事
業」「傾聴ボランティア事業(鳩の集
い)」「文化活動事業」が企画され、「鳩
の集い」は現在も日立とJAXAで
各月2回ずつ実施しています。

おあがんなんしょ

【ふじみ野市】

ふじみ野市では、2011年5月から、
毎月1回避難者の方々の交流会
「おあがんなんしょ」が開かれて
います。交流会では県人会の方々
と車座で話をする「いろいろぱった
や足湯」、子ども達と高校生の
「わらしっこあつまれ」、多数のボ
ランティアや大学生との歓談・交
流の場をおこなっています。
<http://oagannansho.com/>



12月、一足お先に
ハワイアンズで交流



毎月の交流会の様子

さいがいつながりカフェ

場所: With You さいたま(埼玉県男女共同参画推進センター)
4階和室 参加費 無料/申込不用
JRさいたま新都心駅から5分
日時: 4月は10日、24日 5月は8日、22日 11:00~15:00

広い和室に美味しいお菓子といろんなお茶を
用意しています。午前中からは昼食を持っ
てきてください。食べながら、飲みながら、心
ゆくまでおしゃべりしましょう。時にはマッサ
ージを受けたり、アロマ・スプレーを作ったり。
簡単な体操をしたり。その時々でいろいろあり
ます。小さなお子様も大丈夫、ママたちもしば
しホッとしてください。(スタッフ薄井さん)

一歩会

【越谷市など】

2011年3月に「老人福祉センター・くす
のき荘」の避難所が閉鎖された際に「浜
通り一歩会」(のちに「一歩会」に改称)が
結成され、4月に第一回交流会が開かれ
ました。その後も月1回のイベント・
交流会や見守り事業をおこなって
おり、現在では越谷市を中心に200人強の
会員が所属しています。



「ひまわり」の会

【川口市】

旧鳩ヶ谷市内に避難してきた方々を中心に、毎月第2水曜
日に「おしゃべりサロン」を開催しています。

取材協力: 原田峻(東京大学)

上記の他にも動き始めた地域があります。随時ご紹介していきます。自分の地元でもはじめたい、という方がいらっしゃったらぜひご連絡ください。実現に向けて一緒に考えます。